

中国東部・第3歩行 記録

作成: (記録担当) 松見豊和

期 日 2009年9月20日～10月4日 (旅順オプションを含む)

メンバー (敬称略す)

リーダー 山崎 隆 (9/27親族の不幸で帰国) 9/27以降は代行 戒能俊邦
 サブリーダー 前半: 住山 茂 後半: 戒能 俊邦がリーダーになったため代行 早川東城
 担当 会計: 甲田征三 記録: 松見豊和 食料: 齋藤篤二 土産: 住山 茂、生和光朗

全行程メンバー 佐藤 庄一、平林 功男、早川 東城、石塚 正太郎、江守 善昭、友松 知宏、
 甲田 征三、甲田 みつえ、蔵田 道子、山崎 隆、松見豊和、 11名
 前半メンバー 斉藤 篤二、安藤 潔、栗田 宏和、住山 茂 4名
 後半メンバー 戒能 俊邦、森 正昭、寺田 泰五郎、結城 皖曠 4名
 * 生和夫妻は祝賀会と旅順オプションに参加 2名

行動概要

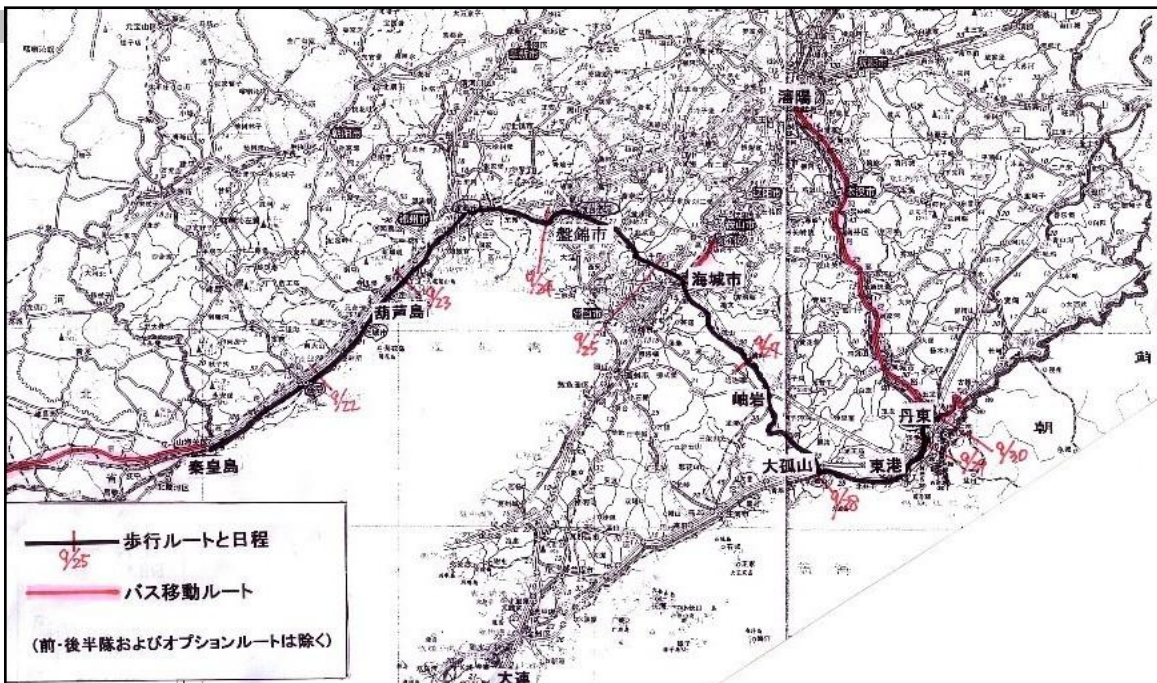
日程	曜日	行程	移動手段	宿泊地とホテル	歩行距離
9月20日	(日)	成田(関空)⇒北京	(飛行機)	北京市・前門建国飯店	
21日	(月)	北京⇒秦皇島	(伴走車)	秦皇島市・天華大酒店	
22日	(火)	秦皇島⇒綏中	(歩行+伴走車)	葫蘆島市・葫蘆島国際酒店	80km
23日	(水)	綏中⇒葫蘆島	(歩行)	連泊	90km
24日	(木)	葫蘆島⇒盤錦市	(歩行)	盤錦市・国貿飯店 *1	98km
25日	(金)	盤錦市⇒海城	(歩行)	海城市・海城大酒店	86km
26日	(土)	千山観光	(伴走車)	連泊	前半小計 354km
		(前半組) 瀋陽⇒北京	(ハイヤー+飛行機)	北京市・前門建国飯店	
		(後半組) 成田⇒海城	(飛行機+ハイヤー)	海城市・海城大酒店	
27日	(日)	(山崎L)⇒北京⇒成田	(ハイヤー+飛行機)	無事帰国	
		(前半組)⇒成田	(飛行機)	無事帰国	
		海城⇒岫岩	(歩行)	岫岩市・岫岩人民政府賓館	80km
28日	(月)	岫岩⇒大孤山	(歩行+伴走車)	東港市・華能賓館	94km
29日	(火)	大孤山⇒前陽	(歩行+伴走車)	連泊	73km
30日	(水)	前陽⇒丹東(祝賀会)	(歩行)	丹東・丹東鴨緑江大厦	14km
10月1日	(木)	丹東観光⇒瀋陽	(伴走車)	瀋陽市・遼寧賓館	後半小計
2日	(金)	瀋陽観光⇒北京	(伴走車+飛行機)	北京市・前門建国飯店	261km
		(旅順オプション組) *2	(ハイヤー+列車)	大連市・大連賓館	
3日	(土)	北京⇒成田	(飛行機)	無事帰国	
		(旅順オプション組) *3	(ハイヤー)	連泊	
4日	(日)	大連⇒成田(関空)	(飛行機)	無事帰国	歩行合計 615km

*1 全日本中国旅行社の最終案内では盤錦大酒店になっていた。

*2 瀋陽観光⇒瀋陽北駅⇒大連

*3 旅順観光⇒大連観光

行程地図



歩行記録(前半)

20日夜に無事全員が揃い、翌日は今までになく大きな伴走車で秦皇島に向かい、山海関を見学しました。22日から中国東部第3歩行がスタート、立派に舗装された国道102を北上した。海は見え、両側には並木が整備されていた。3日目の24日に国道と別れ省道308を東に進む。省道も整備されていて歩行に不便を感じることはなかった。道路の両側は油田地帯でポンプが林立していた。最終日は少し高低差が出てきたが農村の路傍ではもくず蟹を売る風景が印象的だった。前半の4日の歩行は事故もなく全員元気に完歩した。気温はかなり高

9月21日 北京⇒秦皇島 (山海関観光) 終日 晴 昼食時 29℃



山海関・天下第一関前で

(午前中) 北京を8:30に二人の運転手とが仆の張さんと共に伴走車で出発。両側に幅広い緑地帯を持つ京沈高速道路を一路東へ走り、13:00に秦皇島に到着し昼食。

(午後) 山海関観光: まず老龍頭を見学し、続いて城壁の中に入り、天下第一関に登り、万里の長城の東の端を歩いた。西部第3歩行で見学した嘉峪関と比べてみると城壁の中の町はこちらが大きい。天下第一関の建物は西の方が立派だった。嘉峪関の西に続く長城の端が断崖の臨む第一墩(やぐらの意味)であるように、こちらは東の海に臨んだ老龍頭があり、同じような考え方で作られているなど感じた。

9月22日 秦皇島⇒綏中 終日 晴 昼食時 29℃ 歩行: 80km

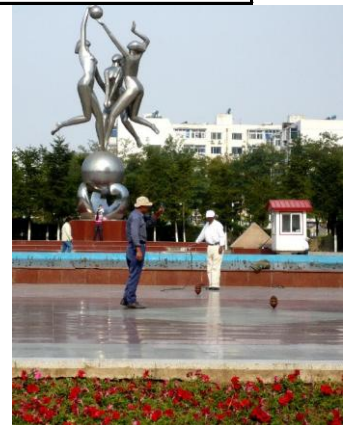
1班 20km 齊藤・住山	2班 15km 蔵田・栗田・甲田M	3班 15km 安藤・江守・甲田w
4班 15km 平林・友松・佐藤	5班 15km 石塚・早川・松見	NAVI 山崎L

前回のゴール地点のロータリーから今回の東部第3歩行は始まりました。1、2班と3、4班が合流し5班は行けるとこまで行く方式で、1班だけが省道などを歩きましたが、2班以降は国道102号を進みました。南風があり、暑さと共に北上組は追い風を感じました。今日のゴール予定地は省道306号とのT字路だったが、1、2班のバスへの回収が終わってないので先に進み六股河の南橋詰をゴールにした。今日の宿は葫蘆島市なので明日の行程を見ながら1時間半走って到着。夕食は山崎リーダーと住山サブリーダーの誕生祝いになった。2

9月23日 綏中⇒葫蘆島 終日 薄曇 昼食時 25℃ 歩行: 90km

1班 12km 平林・齊藤・甲田M	2班 15km 石塚・友松・甲田w	3班 20km 早川・江守・蔵
4班 20km 安藤・山崎・佐藤	5班 23km 栗田・松見	NAVI 住山SL

今日は1班から4班までは昨日バスで見たところで、国道の両側には並木が繋がり片方は溝が掘られている田園風景が続きます。ホテルに一番近い5班から下車しスタート。5班は殆ど市街地で、公園では太極拳や独楽回しが見られた。今日は北風で低気圧のためか雲が多く少し寒さを感じた。3、4班と1、2班をそれぞれ同時に降ろし南北に分かれて歩行した。今日は距離の割には早く歩行終了。ホテルに16時前に着いた。今日のトピックスは「平林さん置き忘れ事件」2班のゴール近くで、公安で署名貰ったり写真撮ったりしている間に、近くの畑に写真を撮りに行った平林さんを残してバスは発車。公安に戻り「歩行隊」と書いて、バスが行ってしまったと伝えたら、若い警官が署名貰っていたことを知っていたのか、パトカーに乗れと指示され、バスを追いかけしてくれたそうだ。皆はパトカーに止められ「どうして」と思っていると平林さんがパトカーから降りてきたのでビックリ!



公園の独楽回し

9月24日 葫蘆島⇒盤錦市 曇のち晴 昼食時 28℃ 歩行: 98km

1班 22km 安藤・住山	2班 20km 蔵田・栗田・甲田W	3班 22km 甲田M・松見・友松
4班 18km 山崎・早川・齊藤	5班 16km 石塚・佐藤・平林	NAVI 江守

昨日ゴールの454Kmポストから1班がスタート、496Km地点で2、3班を降ろし国道を南北へ別れて歩く。3班は11km余り歩いたところで国道を右折して省道308に入り東へ進み錦州市を経て凌海市に入る。4班、5班は凌海市に別れを告げ盤錦市に入る。遼東湾に面した低湿地帯は油田地帯で道路の左右にくみ上げるポンプが並んでいる。河が縦横に走っていて路傍ではもくず蟹を売る店が点々と続く。張さんがそれを買って料理店に持ち込んでくれるので今夜のメインは蟹の塩茹でだ。ホテルは街のど真ん中にあり、近くに来てから手間取り到着は17時になった。



道路一杯に走るトラック



油田地帯を行く

9月25日 盤錦市⇒海城 曇 昼間 晴 昼食時 26℃ 歩行:86km

1班 21km 山崎・栗田	2班 18km 江守・甲田M・齊藤	3班 18km 早川・蔵田・安藤
4班 15km 住山・佐藤・松見	5班 14km 平林・甲田w・友松	NAVI 石塚

前半最後の行程は盤錦市から海城市までで、省道308から盤錦市内で省道312に移り、鞍山市の郡部を通り一路東の海城市を目指した。涼しい朝であったが風がなく蒸し暑くなり途中でシャツ一枚脱ぐような一日だった。私は4班で「鵬遼飯店」での昼食時に署名を依頼してタバコを出そうとしたら先に先方からタバコを勧められ、見たらマイルドセブンだったのには驚いた。今日の歩行は2班以降は順調だったが、1班が寄道と豪華な昼食で他の班が予想していた時間より1時間遅れたので、1班の到着時には2班以下5班までが既に歩き終わっていた。3班は1班より45分も早く到着しており、3・4班のゴールは橋の西詰めで風があり体が冷えるので、橋の下のトウモロコシ畑で風を避け、暖を取って1時間以上待った。夕食時に早川さんから、他人に迷惑を掛けないようにしようとの注意があった。



コスモス一杯の土手

9月26日 (本 隊) 千山観光 曇のち雨夕方雨止む 昼食時 26℃

(前半組) 海城・ホテル(ハイヤー)-瀋陽-(Air)-北京・宿泊

(後半組) 成田-(Air)-北京-(Air)-瀋陽-(ハイヤー)-海城・ホテル

千山観光組が10時過ぎに先に出発続いて前半組がハイヤーで瀋陽に向かい途中でバスを追い越す。製鉄所で有名な鞍山を通り、右折して千山風景区に入り、まず昼食。昼食中から雨が降り出し、入場門の手前の売店で傘をホテルに置いてきた人は15円で購入。大仏寺と古刹龍泉寺を見学片道50分の登り下りは雨だからと言い訳して電気自動車に乗る。前半組は瀋陽から空路で北京に着き、20日と同じ前門飯店に宿泊。後半組は早朝に東京を出て北京経由瀋陽空港に到着。待っていた張さんと一緒に。皆が待つ海城のホテルに到着。夕食を共にした



千山入口



古刹龍泉寺の大雄

歩行記録(後半)

26日に前半組の4人が帰国、入れ替わりに後半組の4人が加わった。27日に親族の不幸で山崎リーダーが急遽帰国し、代行のリーダーに戒能氏、サブリーダーに早川氏を選び、総勢14名で後半の歩行をスタートした。前半の海沿いの平野と違って、後半は「玉都」岫岩を中心とする山間部を抜け、黄海沿いの国道を通り鴨緑江沿いの北朝鮮との国境の町丹東を目指す変化に富んだコースだった。後半も天気恵まれ、雨具を着ての歩行は一度もなかった。生和夫妻も参加して全員歩行でゴールし、丹東での祝賀会を終えた後は、翌日伴走車で移動し瀋陽の市内観光で全体の行動は終了。本隊は北京1泊後10/3帰国。旅順オプション組は旅順・大連観光後10/4帰国。軽い下痢・風邪や肉刺の人はいたが、歩行中の事故などはなく、温暖で天気に恵まれ、厚手の衣服や雨具は利用することもなく元気に全員帰国できました。

9月27日 海城⇒岫岩 曇のち晴 昼食時 26℃ 歩行:80km (本日より14名)

1班 20km 戒能・森	2班 16km 早川・甲田M	3班 16km 結城・甲田w・江守
4班 13km 石塚・友松・松見	5班 15km 平林・寺田・蔵田	NAVI 佐藤

後半の初日は不幸な出来事でスタートした。山崎リーダーが義母の急逝ということで急遽帰国、後任のリーダー、サブリーダーを決めました。今日の行程は山奥の岫岩の街へ登り勾配が続きました。4班の行程では両側に「玉」の店が続き、玉石計量所があり、珍しいので入り込んで署名も貰いました。今日も到着時刻の設定がうまくなく、1班は予定より早く着いたとの連絡あったが、その後が繋がらず随分道草で時間をつぶしたが、昨日に続き1時間近く待ち時間になった。5班はゴール地点に酒店があり、酒盛りが出来たが、4班は何もない所で待つしか方法がなかった。



玉都・岫岩への入口

4班終点のキロポストと黄色いリボン



9月28日 岫岩⇒大狐山 曇のち晴 昼食時 29℃ 歩行:94km

1班 20km 森・結城	2班 18km 早川・甲田M&W	3班 18km 江守・友松・蔵田
4班 12km 寺田・松見	5班 26km 平林・石塚・佐藤	NAVI 戒能

今日は山間の玉都・岫岩から海沿いの国道に近寄る省道312の歩行で、高低差のある行程だった。両側の山の緑は黄色く色づいて来て、天気も終日晴れですがすがしい一日だった。4班は美しいダム湖に見とれてしまい、ゴールの26kmポイントを見逃して25kmポイントに着いてしまった。5班は12kmの予定をガイドと運転助手を加え、2班に分けてそれぞれ13km、合計26km歩き、省道312線の終点まで到達した。明日は国道201のみとなり距離は短くなる



路傍の木の实売り、左はほおずき



4班が見とれたダム湖

9月29日 大狐山⇒前陽 終日 晴 昼食時 27℃ 歩行:73km

1班 12km 平林・寺田	2班 13km 佐藤・甲田M・松見	3班 16km 江守・友松・石塚
4班 14km 蔵田・森	5班 18km 戒能・結城・甲田W	NAVI 早川



ホテル前の結婚式のお祝いデコレーション(何故かいつも象の飾りだった)

明日の最終日の行程を残し、丹東の手前までが今日の歩行です。ホテルに近い5班から1班の順で降車しスタート。天気は晴で気持ちよく、国道は良く整備されており柳やポプラの並木が続き、水田には稲がなびいている。伴走車との連携が最高の日だった。NAVIが旨く様子を知らせてくれたので昼食の時間で調整できた。おかげで3時過ぎにはホテルに着き、夕食の集合時間まで2時間、ゆっくりと風呂に入り洗濯も出来た。今晚の夕食は最高だった。ホテルでの夕食は街の飯店に比べ費用が3倍なので、街中で食べようとの意見が通り、15分ほど歩いたが価値はあった。今日は魚などを平林さんが選んでくれたので、日本人の口に合ったのかも知れない。残り少なくなったが食事も楽しみだ。

9月30日 前陽⇒丹東(鴨緑江観光) 終日 晴 昼食時 27℃ 歩行:14km

1班 3km 早川・石塚・寺田	2班 3km 甲田M・結城・森	3班 2km 甲田W・蔵田・江守
4班 2km 佐藤・平林・松見	5班 2km 戒能・友松	6班 2km 全員 NAVI ナシ

(午前中) 佐藤さんは5班の予定だったが、卒業した小学校のある4班に代わって歩い

た。しかし残念ながら今日のコースは甲山(帽盗山)の西側で、小学校と自宅は山の東側だったので近くには行けなかった。全員で最後の2km程を歩き、丹東駅の毛沢東の銅像前のゴールに到着(午後) 予定より早かったので昼食後、明日の丹東観光の内、鴨緑江遊覧と鴨緑江断橋の2ヶ所を観光し、ホテルに戻った。夕方から中国歩行を終えた祝賀会が、丹東市の観光局の方や丹東国際旅行社の社長さん達を迎え開かれた。最初に出席者の紹介を日中双方で行い、丹東市旅遊局副局長の歓迎の挨拶、戒能リーダーの答礼の挨拶、今までの旅の経過などのスピーチがあり、その一つ一つに乾杯が加わり会は進んだ。記念品贈呈の後はいかねてより練習をつんできた歌を友松さんの指揮で3曲歌った。最後の中国民謡の「草原情歌」を中国側参加者がお返しで合唱し祝賀会は盛会裏に終わりました



ゴール地点の毛沢東像



歩行達成の全員



祝賀会の記念撮影

10月1日 丹東観光⇒瀋陽 曇のち大雨のち曇 昼食時 16℃

今日は中華人民共和国の**建国60周年記念日**でTVは早朝から特集番組。午前中、虎山長城を見学し、昼食後は伴走車で瀋陽に向かう。虎山長城にはビックリ。山海関が東の端だと思っていたので、まだあるのかという感じ。まず一步跨ぐと北朝鮮という場所に行く。確かに浅瀬の飛び石を渡ると上陸できるが、そこは中の島で、本土には鴨緑江を渡らねばならない。長城の頂上への階段は急で、登りより下りが恐かった。昼食後は瀋陽へのバスの旅だったが、丹東市から本溪市への境界あたりから空は真っ暗になり、スコールのような雨が降り、運転手は大変だった。夕刻瀋陽到着。建国記念日で検問がきつく高速の出口で全員のパスポートチェックがあった。夕食は東北地方の名物の餃子の店に出かけた。



一步跨の地

10月2日 (本 隊) 瀋陽市内観光－(Air)－北京・宿泊

(旅順オプション組) 瀋陽市内観光－(列車)－大連・宿泊

終日 晴 昼食時 27



北陵正門前の記念日の飾り

北陵(昭陵)、張学良旧居、瀋陽故宮博物院の3ヶ所の観光だが、旅順オプション組は一足早く7:30出発、駆足の見学だったが、日本語のうまいガバの金さんが、時計を気にしながらも詳しく説明してくれて楽しかった。あわただしく駅前で牛肉麺を食べ瀋陽北駅に入る。荷物検査を済まし所定の待合室に入り、時間を待ってホームに行く。ガバが付き合ってくれて助かった。軟座の特急の割には座席の幅・間隔とも狭く、暑くてビールを飲みながら4時間半を過ごした。本隊のグループは少し遅れて出発し、先発隊とは逆回りで3ヶ所を観光。昼食後、瀋陽空港から北京に向かい20日と同じ前門建国飯店に泊まった。

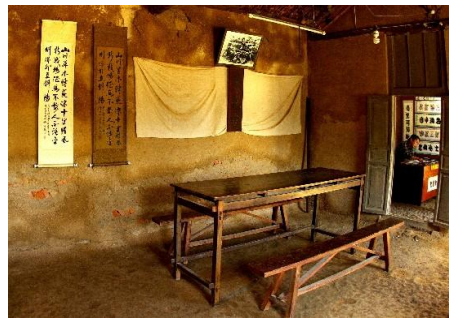
10月3日 (本 隊) 北京－(Air)－成田

(旅順オプション組) 旅順観光－大連観光 終日 晴 昼食時 26℃

旅順オプション組7人を除く9人は北京を発って成田へ向かい帰国。オプション組はまず宿泊した旧ヤマトホテルの特別陳列室を案内してもらった後、小型バスで旅順へ向かった。旅順では東鶏冠山、旅順博物館、203高地、水師営会見所を回った。東鶏冠山ではロシア軍の要塞のコンクリートの厚さ、203高地では頂上に至る場所の傾斜の急なことなど「坂の上の雲」の本では味わえない現場を見学しました。特筆は今年5月に公開されたという旅順博物館の大谷探検隊のミイラなどの展示品でした。素晴らしいものは日本に持って帰ったとガバは云ってましたが日本のどこにあるのか帰って調べようと思いました。バスで大連に戻り、老虎灘公園を經由して大連港を見学して戻りました。旧満鉄ビルの屋上から見る夕陽の大連港も印象的でした。



ロシアの要塞の内部



水師営会見所の内部



203高地から見た旅順口

10月4日 (旅順オプション組) 大連－(Air)－成田(関空)

関空への便は10時大連空港発なので、7:55にガイトの宇さんとホテルを出発。荷物検査とチェックインのカウンターまで入れなくて一人で不安でしたが、大阪に留学する娘さんに日本語で話しかけられ、仲間が出来て安心した。成田への便は午後の出発なので残りの人は朝食後朝市へ散策に出た。10時過ぎ、空港から戻ったガイトの宇さんにマーケットに案内してもらってから大連空港へ向かった。午後・関空と夕方・成田へ無事到着し、今回の中国東部第3歩行は完了した。

祝賀会報告

会場

丹東鴨緑江大廈(宿泊したホテル)2Fの宴会場

出席者

主賓 劉 曉 氏 丹東市旅遊局 副局長
 ゲスト 劉 中文氏 丹東市旅遊局 課長
 全 順姫氏 丹東国際旅行社 総経理
 張 永強氏 丹東国際旅行社
 歩く会 戒能リーダー以下14名と生和夫妻を合わせて16名
 進行 ガイトの張 東昇氏とサブで森さん

式次第

- 1 メンバー紹介 中国側はガイトの張さんが行い、日本側は森さんが紹介した
- 2 主賓挨拶 丹東市旅遊局 副局長の 劉 曉氏 (挨拶概要は後述)
(乾杯と食事・談話)
- 3 答礼の挨拶 戒能リーダーより答礼の言葉(挨拶概要は後述)
(乾杯と食事・談話)
- 4 ユーラシアを歩く会のこれまでの報告 早川サブリーダーから報告
(乾杯と食事・談話)
- 5 お土産贈呈 生和夫人より主賓、ゲスト、ガイトの張さんに渡した
(お土産は名古屋のお菓子「二人静」)
- 6 合唱 友松氏の指揮で ①気ままな旅人 ②森の狩 ③草原情歌を歌う
- 7 返歌 中国民謡の「草原情歌」を副局長・全総経理・ガイトの張さんの3人が
お返しで歌ってくれた。
- 8 記念撮影
- 9 お開きとゲストの見送り

主賓挨拶概要

こんばんは！ 中国建国60周年の前夜にユーラシアを歩く会の皆様をお迎えすることは大きな喜びです。丹東市を代表して皆様を歓迎します。「ようこそおいで下さいました」ユーラシアを歩く会の皆様はヨーロッパ、中央アジアを経て中国を歩き、丹東に来られたと聞いています。丹東市は北朝鮮との国境に当たりますが、中国の国境の街としては一番大きく美しい都市です。資源に恵まれ、緑も多く、東北では住むのに良い都市と云われています。(中略) 丹東市旅遊局を代表して皆様を歓迎すると共に、皆様の今後の旅の安全を祈ります。乾杯

答礼挨拶概要

ユーラシアを歩く会のために歓迎の席を設けて頂きまして感謝いたします。また中国建国60周年の国慶節の前日にここ丹東に到着したことを大変嬉しく思います。日本にとっても中国に入る大切な場所として貴重な丹東が我々の中国の旅の最後というのも一つの縁だと感じています。今後北朝鮮は通れませんが、韓国、日本と歩きは続きます。しかしグループで歩くのはこれが最後です。16人全員で最後の丹東駅まで美しい街並みを見ながら歩きました。今後の我々の歩行の旅と丹東の皆様への感謝を込めて乾杯したいと思います。乾杯。

ユーラシアを歩く会のこれまでの報告

早川サブリーダーが1996年にロンドンを出発して以降の旅の話をされ、話の中に中国の旅は5年を要し、これまでに歩いた28ヶ国の中で最も長い時間を掛けた国ですと話された。

会計記録 (参加者拠出金の会計報告) 会計担当甲田氏の会計報告より

1 円ベース 会計報告

日付	項目	収入	支出	残高	備考
9月20日	全行程参加者 拠出金	330,000		330,000	全行程 11人x30千円
	前半行程参加者 拠出金	60,000		390,000	前半行程 4人x15千円
	両替		100,000	290,000	*1 7000円
	お茶、お菓子		4,900	285,100	反省会用
	住山君購入品		12,400	272,700	土産、タバコ、カメラフィルム
9月26日	両替		15,000	257,700	*1 1050円
	後半行程参加者 拠出金	60,000		317,700	後半行程 4人x15千円
9月28日	両替		30,000	287,700	*1 2100円
10月1日	両替		10,000	277,700	*1 700円
10月2日	両替		15,000	262,700	*1 1050円
	携帯電話借用料		55,000	207,700	*2 請求書詳細 下記
	拠出金 返済		207,700	0	*3
合計		450,000	450,000	0	

*1 為替レート 1円 → 0.07円

*2 携帯電話 借用・使用料 (円で決済)

① 請求額

借用料 85円/日 x 12日 x 4台 = 4080円 通話料 100円 x 4台 = 400円
合計 4480円/700円 = 58285円 請求額 55000円

② 正しい請求額

張さんの請求額は計算誤りで、正しい請求額は 4480円/0.07円=64000円
請求額に基づき支払い済みなので追加支払はしない

*3 拠出金の返済は

全行程 13840円 半行程 6920円
余った100円は反省会の費用に充当

2 円ベース 会計報告

日付	項目	収入	支出	残高	備考
9月20日	10千円両替	7,000		7,000	
	全行程参加者 小遣い		3,300	3,700	300円x11人
	前半行程参加者 小遣い		600	3,100	150円x4人
9月21日	昼食		275	2,825	
	夕食		164	2,661	
9月22日	チェキ電池		5	2,656	レシートなし
	夕食		200	2,456	誕生会 *1
9月23日	夕食		333	2,123	
9月24日	夕食		480	1,643	
9月25日	夕食		423	1,220	
	早川さん キャンパ	400		1,620	
	ビール代 (平林さん)		20	1,600	レシートなし
9月26日	昼食		190	1,410	
	仙山観光 バス代		220	1,190	レシートなし
	夕食		370	820	
	後半行程参加者 小遣い		600	220	150円x4人
	5千円両替 (斉藤さん)	350		570	
	100千円両替 (甲田)	700		1,270	
9月27日	夕食		670	600	
9月28日	30千円両替	2,100		2,700	
	夕食		680	2,020	
9月29日	夕食		500	1,520	
9月30日	夕食		278	1,242	
	コピー代		60	1,182	
10月1日	10千円両替	700		1,882	
	昼食		416	1,466	
	夕食		948	518	
	生和さん食事代	300		818	星和夫妻2人分

次頁に続く

	10千円両替	700		1,518	
--	--------	-----	--	-------	--

10月2日	昼食		298	1,220	
	夕食		335	885	
	珈琲代		56	829	レシートなし
	運転手 謝礼		200	629	レシートなし
	運転手助手 謝礼		100	529	レシートなし
10月3日	ガイド(張さん)謝礼		300	229	レシートなし
	反省会用 お土産		229	0	不足分は北京組で負担
合計		12,250	12,250	0	

*1 食事代は旅行社負担、当方は飲物代のみ

個人会計記録 (参考に松見個人の会計報告を記します。) 合計は30万円を下回りました

名目	項目	支出	小計
全日本 中国旅行社 への支払い	国際航空運賃	94,000	259,050
	空港使用料(関空)	2,650	
	航空保険	800	
	出国税(大連)	1,300	
	運賃(瀋陽-大連)	2,100	
	ガイド料負担分	53,800	
	ホテル料金(10泊)	47,400	
	北京送迎費用	1,200	
	丹東 宴会分	3,400	
	観光費用分担分	12,800	
	専用車代分担分	35,000	
	一人部屋分担金	4,600	
海外旅行保険	AIU アジア地区15日分	4,820	4,820
参加者拠出金	全行程参加者分	30,000	11,660
	お小遣い	-4,500	
	返済	-13,840	
国内交通費	9/20 自宅-関空 シャトル	3,500	6,800
	10/4 関空-自宅 シャトル	3,300	
国内経費 9/20&10/4	昼食 (9/20)	1,438	2,658
	飲料・菓子	420	
	文庫本	550	
	お茶と新聞(10/4)	250	
前半経費 9/20~26 7日間	飲物	38	1,966
	昼食(4回)	878	
	クリーニング	945	
	バンドエイド	75	
	山海関・展望台	30	
後半経費 9/27から10/1 5日間	昼食(3回)	975	1,080
	月餅	30	
	タクシー分担金	75	
旅順オプション 経費 10/2~10/4 3日間	昼食(2回)+夕食(2回)	4,350	7,020
	旅順博物館	300	
	飲物(老酒含む)	570	
	お土産(フルーツティ)	1,800	
合計			295,054

*1 1元=15円で計算した。

*2 中国内での費用の合計は円換算で10,066円で参加者拠出金の返済分以下となった

*3 大連・旅順は歩行した場所と比べ、食事代が掛かった。

終わりに

記録係を拝命し、旅行中も心配で仕方がなかったのですが、出来はともかく作成出来てホットしています。6/4にルーマニアで、サイクリング中にトラックに撥ねられ、1日半後の意識回復のあと、3ヶ所の病院を経て6/20エールフランス機で帰国。運動開始の許可は7/20で2ヶ月で歩けるまでに回復するか心配でしたが、10キロ歩行を2度テストして参加しました。しかし準備不足か、23km歩いた日に肉刺を造りました。斉藤さんの連日の手当てや皆様からの薬品や絆創膏などの支援で無事歩く事が出来たと感謝しています。周囲を見ると、一日4回のインシュリンの注射を打ちながらの二人を始め、食品アレルギーの人、眩暈の心配のある人など、それぞれが悩みを持ちながらも頑張ってくれてる姿に勇気を貰いました。色々な条件を考慮して班編成や部屋割りをしてくださったリーダーを始め、全てのメンバーに感謝をして報告を終了したいと思います。